

## 第 22 回（令和 3 年度第 3 回）学校運営協議会議事録（書面開催）

### 【委員】

- 内川 隆（本校同窓会長）
- 大石 進（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授）
- 佐々井 正泰（横浜市青葉区保健センターこども家庭支援課長）
- 鈴木 秀幸（青葉区大場町在住）
- 竹下 恭子（横浜市立市ケ尾中学校長）
- 西村 明展（青葉区鴨志田町在住）
- 横澤 孝泰（あおば支援学校長）
- 佐藤 弘之（本校校長）
- 飯島 正徳（東京都市大学知識工学部教授）
- 高篠 直江（本校 PTA 会長）

### 1 学校評価部会報告事項《○委員、●学校》

#### （1）第 2 回生徒による授業評価集計結果について

- 各教科別レーダーチャートのグラフを見ると、芸術が非常に高評価を得ていることが分かりました。音・美・書それぞれの特色があると思いますが、何か特別なことをやっているのか興味深い。
- 特性が違う教科に対して設問が同じというところはやや無理があると思う。集計結果をどう活かしていくのかと自由記述欄の回答が気になる。
- この結果をどのように扱うか、教科間の差は大きくはないが、教科ごとにアンケート結果に対してフィードバックが必要ではないか？また、学校のポリシーと照らし合わせてどのように考えるか？
- 評価に関しては今後検討していく。

#### （2）令和 3 年度学校評価アンケートについて

- 学校・教員が考える学校の理想と生徒・保護者が求める学校の在り方に乖離はないだろうか。「総合的探究の時間」のとらえ方が曖昧になってはいないか。

### 2 地域協働部会報告事項《○委員、●学校》

#### 新たな地域連携等の報告について

- 桐蔭横浜大学としても、教育体験や部活動の連携は継続してほしいと思っている。
- 部活単位での大学や支援学校との交流は地域連携ではない。学校交流を地域連携の足掛かりにするなら小中学校を利用すべき。行政（青葉区役所等）や卒業生あるいはその保護者など利用できる場所は沢山ある。「総合的な探究の時間」を活用してはどうか。青葉区の「あおば未来プロジェクト」などとの連携も良いと思う。
- 来年度は学校全体で近隣小中学校と地域連携事業が実施できるようにしていく。また、総合の時間もうまく活用できないか検討していく。
- コロナの感染状況の収束が見えない中ではありますが、地域の中学校として、高校とつながることのできる機会があればと思っている。

- 2「成人年齢」の引き下げに関しては、大学でも話題になっている。高校で成人に対する正しい認識を与えて頂けると、大学に入学してからもスムーズである。

### 3 学校運営協議会報告事項

#### (1) 学校からの報告について

- 進路について、学校推薦型選抜（公募制）の受験者数が、45期生42名から46期生13名と大幅に減少しています。何か理由があるのか、学校側（進路指導部・学年）の分析があればお聞きしたい。
- 昨年は新型コロナウイルス関連の不安から増加したため、例年に戻ったと分析している。また、一般選抜で最後までチャレンジしようとする生徒が多かった。
- 2年生の修学旅行中止、本当に残念でした。今後何か代替案はあるのか。
- 令和4年6月に修学旅行の代替となる行事が予定されている。
- コロナ渦の中での学校行事が大変な事は理解できる。昨年に続き修学旅行が中止になったことは残念。キッチンカーは市ケ尾高校が先駆けとなって他校でも利用が広がっていると聞くのでこういう発想、工夫ができる市ケ尾高校の資質の高さを感じられる。スケアード・ストリートが実施できたのは良かったがさらにそこから広げて生徒自身に通学路の危険などを整理認識してもらえると良い。
- 今後も交通安全指導には尽力していく。

#### (2) 第三者評価について

- 評価がBというのは良いのか悪いのかわからないが課題が多いことはわかる。教育委員会による支援等についての記述がないのは気になる。昨今の日本の教育現場の状況を聞くと教員の負担軽減をしていかなければいけないことは確かだと思う。教員免許が無ければできない仕事を減らすような支援を教育委員会は考えるべきではないか。
- 今後も継続して取り組むべき課題ということで評価がBとなっている。
- 評価委員からの評価・助言を踏まえ、学校がコロナ禍、様々な制限がある中で、教育活動の継続に懸命に取り組まれて来たことに敬意を表します。令和3年度卒業生に実施する「進路に関する満足度調査」の結果が楽しみである。
- 評価がすべてBとなっている。

#### (3) スクールポリシーについて

- どこの学校も同じような表現になってしまうのはしかたないことかもしれないが、市ケ尾高校らしきみたいなものがあつたら良いというのが個人的な感想である。
- 1のグラデュエーション・ポリシーで、「人間力」には、かっこがついているので「発表力」、「思考力・判断力・表現力」というように、統一したらいかがか。
- ご指摘ありがたく思う。
- 特に意見はないが、これは新しい施策になるか？現在どの学校でも3ポリシーを明確にすることは重要になっている。
- 新しい施策というより、文部科学省を通じて、全国の自治体に統一して3つのポリシーを示すように求められたものである。